# RFA News-Release

vol.001 / 2022.4.1

## 受賞 「S高校グラウンドプロジェクト」が2021年度第15回建築九州賞（作品賞）一般建築部門 佳作を受賞しました

### 50x50 の角パイプを用いた異なる構造形式を持つ3 つの建築

福岡県に建つ高校に新規に増設されたグラウンド整備のプロジェクトです。大型バスの駐車場とトイレ、既存の校舎とつなぐ渡り廊下の 3 棟の建築を含む、グラウンド整備のプロジェクトです。駐車場の屋根は大型バスを収容するために、天井高さ 4.5m と 12m の無柱空間が必要とのことから、50 角の材を格子上に組み、構造解析により段数を変化させることで、薄い厚みで 12m スパンを実現しています。屋根は水勾配をとるため、長手方向に薄く湾曲した形状としました。また、渡り廊下とトイレ棟も同じ 50 角材を基本に計画しました。渡り廊下は梁を梯子状に計画し、柱を千鳥に配置しており、トイレ棟は 50 角の材を 500 ピッチに柱梁を並べ、そこに外壁材を外側から留めただけの簡素なディテールを採用しました。

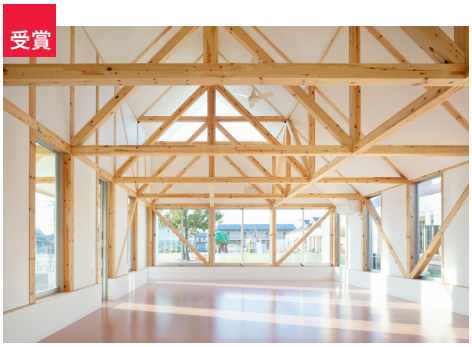
photo Kenta Hasegawa

### 曲げ加工を行わずにつくる三次曲面の大屋根

バス3 台分の駐車場上屋の計画で、12m ×12m の大空間を500mm ×500mm グリッドの重ね格子で計画しています。10 年間での取り壊しが予定されていることもあり、50x50 の角パイプを用いた軽微な構造としています。意匠上の要求から屋根面を3 次曲面とする必要があり、入札案件で鉄骨ファブの指定ができなかったため、曲げ加工を行わずに整形可能な三次曲面を考案しました。各柱頭レベルを抑えた上で、重ね格子の自重によって三次曲面屋根フレームの整形がなされています。重ね格子の交差部も加工を簡略化するため隅肉溶接での接合とし、桁行方向の角パイプは溶接長を確保する目的からアングルを組み合わせたBuilt したBox 断面としています。また、重ね格子に用いる角パイプは板厚を4.5mm に抑え、溶接部に超音波検査が不要なよう配慮しています。耐震性能は独立基礎から鋼管柱の片持ち形式として確保し、重ね格子と交換柱との接合部はピン接合としました。

所在地：福岡県福岡市
竣工：2020年12月
用途：駐車場
構造：鉄骨造
規模：地上1階
敷地面積：9977.59㎡
建築面積：417.32㎡
延床面積：255.48㎡

受賞



## 「ひろかわ幼稚園保育所」が2021年度第15回建築九州賞（作品賞）一般建築部門 奨励賞を受賞しました

福岡県広川町に建つ幼稚園の企業内保育園である。105mm 角材で統一した柱・梁・ブレースを用いて1,820mm スパンのグリットによる木造軸組の連続体として構成しました。断面を変化させることで保育室と多目的室、屋根と軒、エントランスや設備スペースなどを生み出す、新しい木造建築のあり方を考えました。

所在地：福岡県八女郡広川町　竣工：2019年10月
用途：保育所　構造：木造　規模：地上1階
敷地面積：1,417.52㎡　建築面積：150.78㎡　延床面積：150.78㎡

掲載

## 「母の家」が新建築住宅特集2022年4月号に掲載されました

東京郊外のニュータウンの一角にある住宅を改修し、交流空間をつくるプロジェクトです。私の実家に暮らす母の家であると同時に「住宅を改修して、まちづくりのために新しい世代の女性を支援する活動を始めたい」という母の意思を受けてスタートしました。

所在地：埼玉県所沢市　竣工：2022年2月
用途：兼用住宅・コワーキングスペース・喫茶店(レンタルシェアキッチン)
構造：木造　規模：地上2階
敷地面積：188㎡　建築面積：68.16㎡　延床面積：116.49㎡

登壇

## 「椿峰まちづくりシンポジウム 2022 ニュータウンの課題と解決策を考える」に登壇しました

椿峰は抑制された建築と豊かな緑地が共存し、狭山丘陵の自然と一体となった緑豊かなニュータウンとして成熟しましたが、その椿峰にも住民の高齢化やコミュニティの空洞化、空き家の増加や公共施設の老朽化など、計画住宅地ならではの課題が見られるようになりました。本シンポジウムではそのような椿峰の街づくり上の課題を整理し、住民と行政が協力して新しい住宅地のあり方を見出すため、街づくりの専門家をお招きして、討議を行いました。

Web

RFA（お問い合わせ）
110-0002 東京都台東区上野桜木1-7-5-103
tel: 03-5832-9760
email: office @ryujifujimura.jp

Copyright ©RFA | RFL All rights reserved.